

75 歳以上の医療費 2 倍化反対 6.21 スタート県民集会

アピール

経済財政諮問会議（内閣府）や財政制度審議会（財務省）で、後期高齢者医療の自己負担を 1 割から 2 割にする負担増が議論されています。社会保障審議会（厚労省）においても議論が開始されました。負担増の計画に対して、老人クラブや医療関係団体から慎重な意見が相次いでいますが、後期高齢者への負担増が強行されようとしています。

70 歳から 74 歳の医療費自己負担は、2014 年度から新たに 70 歳に到達する人について 2 割負担へと段階的に引き上げられており、現在、74 歳の人においては 2 割負担となっています。

5 月 23 日に財政制度審議会が発表した「新たな財政健全化計画等に関する建議」は、現在 74 歳の人 が 75 歳になる 2019 年度のタイミングで「新たに後期高齢者になる人について医療費の自己負担を 2 割に引き上げる」ことが出来れば、個人の単位での自己負担増をせずに、2 割負担のまま後期高齢者医療制度に移ることになると説明しています。同時に建議は、社会保障費の自然増を 3 年間で 1.5 兆円抑制してきたことを「積極的に評価されるべき」こととして、2019 年度から 2021 年度についても、これを目安にしていく方向を示しています。

社会保障審議会においても議論が開始されました。遅くとも、来年の通常国会には「改正」法案が提出される予定です。75 歳以上の医療費負担が 2 倍になる動きを、まだ多くの国民は知りません。

高齢者の 7 割が所得 100 万円(年金収入 220 万円)未満であり、厳しい生活を強いられています。これ以上の負担増を許すわけにはいきません。

権利としての社会保障の確立をめざし、後期高齢者医療の 2 倍負担化を阻止するため、今日の集会をスタートに秋に向けた運動をおおいに盛り上げていきましょう。

2018 年 6 月 21 日

75 歳以上の医療費 2 倍化反対!! 6.21 スタート県民集会